

公表日

令和8年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 神戸舞子教室

保護者等数(児童数) 27名

回収数 23件(割合85%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23				・利用人数が10人前後なので2教室使用する時もあるのでスペースが十分に確保されています。 ・のびのびと活動出来ていると思います。	引き続き安全な空間を維持していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23				・児童2～3人に対して職員1人配置していると聞いておりますので適切だと思います。 ・子どもたちの数に対して職員さんたちの数がしっかり確保されていて安心感があります。	丁寧な支援ができる配置に努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1			・重い障害児はいないような感じはしますが子供たちが分かりやすい教室環境になっていると思います。 ・どこに何があるか分かりやすく設置されていると思います。	利用者の特性に合わせて、安全かつ視覚的に分かりやすい設置環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23				・空調管理や職員のマスク着用等、過ごしやすい環境になっていると思います。 ・とても清潔感がある空間で活動しやすいと思います。	引き続き、清掃、消毒を徹底していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22			1	・子どもの特性を理解して接してくれています。 ・しっかり理解してくださっていると思います。	専門知識の向上に努め、今後も適切な支援計画を心掛けていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			1	・公表している支援プログラム以上の支援や寄り添いをして下さっています。	今後も適切な支援計画を心掛けていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23				・個人面談前に子どもが今後どうなってほしいか聞き取りがあります。	1人1人のお子様の特性に合ったプログラムを引き続き維持していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22			1	・電話やラインでの連絡や半年に1度の個人面談の時に説明を受けました。	今後も適切な支援計画を心掛けていきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22			1	・半年に1度の個人面談の時に説明を受けました。 ・通いだしてトイトレが進んだりスプーンの持ち方が進化したたり、先生方のおかげです。	今後も適切な支援計画を心掛けていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1		1	・少しずつステップアップできる内容になっていて工夫されていると思います。 ・毎回とても工夫されているのでとても良いと思います。	飽きのこないプログラムを引き続き維持していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	5		8	・園外での活動があるのでその時に交流があると思います。	今後の検討課題にしていきたいと思えます。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23				・児童発達支援契約時に説明を受けました。 ・丁寧に説明があり安心感がありました。	明確なお話しや見通しが予想できる説明を心掛けていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23				・半年に1度の個人面談の時に説明を受けました。	より詳しく支援内容の説明が行える時間を設けられるよう、検討改善を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20		2	1	・年に一度秋祭りを開催されているので、それが該当すると思います。	保護者が相談しやすい環境、時間を作っていけるよう検討改善を行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	23				・HUGやラインで子どもの様子や進学について連絡して情報共有できていると思います。 ・できています。日々成長が感じられます。 ・毎回帰りに今日のプログラムと様子を聞かせていただきありがとうございます。	不安な思いが残らないよう、今後も継続していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1			・細かい相談はラインでさせていただいてます。	お子様の特性を踏まえ、保護者の想いに寄せた面談を今後も維持していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23				・子どもが何か達成できたときに一緒に喜んでくれています。 ・子どもに寄り添って支援をしてくれています。	保護者の想いに寄せた支援を今後も継続していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21		1	1	・私は仕事の都合上のため、参加できませんでしたが、秋祭り(親子で参加)の後、保護者懇親会があり、子どもと主人が参加しました。 ・保護者の方からの話を聞く機会でも色々聞けることが出来ました。	継続して保護者交流会を実施していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23				・ラインで連絡が来ております。また子どもの進学等でカンファレンスを開いて対応して下さいました。	迅速に明確な対応ができるよう、引き続き体制を整えていきます。
	保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23				・ラインで連絡しており、すぐ返信をいただいております。
21		定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	1			・HUGやライン、個人面談等で発信いただいております。	Instagramで定期的に情報を発信していきます。
22		個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23				・HUGに記載されている画像には他のお友達の顔がモザイク加工されています。	引き続き十分に注意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1		1	・児童発達支援契約時に説明を受けました。	研修は随時行っていますが、周知説明を強化していきたいと思っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			3	・定期的に社内研修をされているのでその際に訓練されていると思います。	引き続き避難訓練を定期的に行っていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			2	・普段の活動を毎日みている訳ではないので分かりません。多分支援はされていると思います。	子どもの安全の確保ができるよう、引き続き体制を整えていきます。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20		1	2	・一度お友達と接触してケガした際に電話連絡をいただきました。	迅速に明確な対応ができるよう、引き続き体制を整えていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22	1			・約3年通所してますので安心してます。 ・とても大好きでここに来て本当によかったです。	安心して療育活動が受けられるよう工夫し向上に努めていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19		3	1	・通所する日と分かるとニコニコしています。 ・とても楽しみにしていて成長が感じられます。	楽しんで療育活動が受けられるよう工夫し向上して努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				・年々出来る事が増えて成長を感じています。これからも宜しくお願いします。 ・とても満足しています。とても良い療育だと思います。	支援の向上に努めていきます。

公表日

令和8年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 神戸舞子教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・運動療育の時は放課後の教室が空いていれば使用している。	引き続き安全に活動できる空間を維持していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		十分に職員を配置し、放課後デイサービスの職員もお子様がお来所していない時間帯などは応援で入ってくれたりなど、協力してきている。	丁寧な支援が行える配置と専門支援の向上に努めていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		わかりやすく、段差も無い生活空間になっている。また、クールダウンすることができる部屋もある。	視覚支援でもわかりやすい提示物等を増やしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		清掃は毎日行い、子どもたちの体調に合わせて空調もつけ調節している。	引き続き清潔で安全な過ごしやすい空間を維持していきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	必要に応じて子どもが一人になれる個別の部屋がある。	引き続き支援に適切な空間を維持していきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	3	毎日、朝終礼を行い、その日の様子の共有を必要に応じて改善方法を話し合っている。	朝終礼ノートを活用し、職員間でミーティングを行い改善策等を話し合い共有していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	保護者へのアンケートを定期的に配布している。	今後も業務改善に努めていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		業務終わりに終礼、または終礼ノートで行っており、定期的に面談も実施している。	職員間でミーティングを行い改善策等を話し合い共有していきます
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	本部から査定が来る。	児童・保護者の方が安心して利用できるように業務内容の改善、向上に努めていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に研修をする。	引き続き十分な時間を取り研修を行っています。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		職員、保護者に対して公表されている。作成も職員の意見をもとに作られている。	今後も適切な支援プログラムを提供できる
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		職員全体でアセスメントを行っている。職員間で子どもの気付きや必要な支援を出し合う様になっている。	児童の特性を踏まえて、保護者の思いに寄せた面談を今後も続け、児童発達支援計画を作成していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		作成の段階で検討が行われている。	引き続き支援計画書を共有し、適切な支援計画を心掛けていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	共有され、計画に沿って職員が連携して対応している。	口頭での共有はできているがこれからは、支援書の回覧を徹底する。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		その日の主になる職員やレクをした職員が行動観察したり、日々職員がお子様のその場に適した声の大きさを数字を使って伝えたりしている。半年に1度は社内のフォーマルなアセスメントで見直しもしている。	定期的なアセスメントにより、ニーズに沿った支援を行っています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		未就学の児童が小学校へ移行する事も含めてアセスメントし、支援内容を設定したうえで支援し、移行支援時も小学校とも必要に応じて連携できるようにしている。	必要に応じて今後も継続し、より良い支援に努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員同士で相談しアイデアを出し合ったり助言したりしている。5療育に沿って計画をチームで作成している。	引き続き職員が自分の意見、提案ができる時間、環境を作り、職員全体でより良い支援ができるように努めていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		固定化しないように職員同士で声をかけあって、話し合いもしている。必ず必要なプログラムは毎月入れ、それ以外は3か月以上あけるようにしている。	引き続き固定化しないように日々の児童の状況を把握し、プログラムを立てよう努めていきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		集団で難しい児童は職員がマンツーマンで付いて支援をしている。個別活動として専門支援員が専門支援計画を立て、支援を行っている。	個々の状況に応じた個別および集団活動を組み込んだ計画を作成し、支援を行います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日朝礼で共有している。	引き続き朝礼で支援内容や留意点等の情報を共有し、支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		毎日終礼で共有している。	引き続き終礼時の報告の徹底を図ると共に、職員が共有できるノート等を充実させていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		業務日報、終礼ノートにお子様の個人の様子を残している。	各記録に不備や漏れがないよう日々の確認を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6か月に1度の見直しを行っている。聞き取りシートを設けて、支援している職員にモニタリングをしている。	引き続き現状を維持していきます。

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が対応。	今後の検討課題にしていきたいと思います。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	保育園や他事業所等連携をとり、情報共有をしたりしている。	より幅広く行えるよう、今後の検討課題にしていきたいと思います。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		必要な情報は共有するなどして共通理解を図っている。	引き続き情報共有を行ってまいります。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			引き続き情報共有を行ってまいります。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3	のぼら学園との連絡、見学に來たりする事で質問に回答したり、助言する機会がある。	引き続き情報共有を行ってまいります。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7			今後の検討課題にしていきたいと思います。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		毎回の送迎時や連絡帳、LINEなどで日々の様子を伝えている。	継続して行っています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	イベントとして家族で参加できる機会や保護者が集まって話せる機会等をいくつか設けている。	保護者が相談しやすい環境をつくり、継続して行っています。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		管理者が保護者に主に契約時おり、契約後は必要に応じて都度ご説明の対応をしています。	明確なお話や見通しが予想できる説明を心掛けていきます。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		何度も保護者と面談することで子ども、家族の意向、意見の尊重を図っている。	継続して行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		面談で保護者に対して児童発達支援計画の説明、同意を得ている。	継続して行っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		主に管理者が迅速かつ適切に対応している。	迅速に明確な対応ができるよう、引き続き体制を整えていきます。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		保護者交流会をイベントに併せて定期的開催している。	継続して保護者交流会を実施してまいります。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		迅速かつ適切に対応している。	迅速に明確な対応ができるよう、引き続き体制を整えていきます。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		SNS、主にHUGシステムやLINE、インスタグラムを通して行事予定や活動等を発信している。	今後も継続してまいります。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報のファイル等が入った書庫には鍵をかけて、普段から情報はしっかり管理している。不要な書類はシュレッダーしている。	引き続き十分に注意し、取り扱ってまいります。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		障害のある子どもに対し、サインや対応の仕方を共通認識を持って接している。	児童、保護者の状態を把握し、より分かりやすい伝達に努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		必要に応じて今後の検討してまいりたいと思います。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		定期的にレクリエーションを通して、子どもに対して周知し、職員は定期的に研修を行っている。	研修は随時行っていますが、周知説明を強化していきたいと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		レクリエーションを通して訓練している。また職員は研修を通して訓練もしている。	引き続き定期的に行っていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時には必ず確認をし、状況に応じて都度対応もするようにしている。	引き続き十分に留意し保護者から聞き取りを行いミスが出ないように確実にアセスメント反映し、職員間でも周知徹底していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		卵など特定の食料が入っている場合は、「卵あり」等のシールを貼っている。	引き続き十分に留意し保護者から聞き取りを行いミスが出ないように確実にアセスメント反映し、職員間でも周知徹底していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			今後も定期的な研修を行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		継続して行っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		該当する事があれば業務日報に書き、共有、今後の対策まで話し合っている。	引き続き確認の徹底を行っていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的に研修を行っている。	今後も定期的な研修を行っていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		今後、対象児の入所があれば、速やかに施設内で協議を行い、保護者への説明と同意を得た上で、個別支援計画にも記載していきます。	